



# 鳩っ子だより

令和7年9月26日

NO. 7

加古川市立鳩里小学校

校長 嶋 基伸

## ◆全国学力・学習状況調査の結果

本年度も、令和7年4月17日（木）に全国の小学6年生と中学3年生を対象とした全国学力・学習調査が実施されました。今年度の調査は、国語科と算数科、理科の3教科に関する学力調査と学習意欲や学習方法、学習環境や生活の諸側面に関する質問調査を実施いたしました。

この調査に関して、あくまでも学力の一部を調査したものであり、子どもたちの現在の学力や実態のすべてを示すものではありません。また調査結果のみで評価を進める意味合いのものでもありません。さまざまな観点から検証を重ねていき、ひとつの指標として、子どもたちの学習状況や習熟度の向上に向けて活用してまいります。



### ◇教科に関する調査から◇

理科の正答率が全国平均を若干下回ったものの、国語科・算数科ともに正答率は全国平均を上回る結果となりました。また、正答数の分布グラフから検証しますと、全国平均値と同じように分布しています。無回答率は国語科が全国平均を上回りましたが、算数科・理科では全国平均を下回り、粘り強く取り組む姿勢が見られました。

国語科では、情報を図に表して関係を整理する問題で高い正答率でした。一方で、問題が進むにつれて思考力を求められる問題で無回答率が高くなる傾向が見受けられました。

算数科では、国語科と同様に思考力を問われる問題に課題が見られました。一方で、分数の計算や図形の角度など基礎的な計算力や算数的知識は身に付いています。

理科では、算数科と同様に基礎的な知識を問う問題の正答率が高かったです。実験結果について自分の言葉で説明したり、物質の状態変化が起こる理由を、知識を基に思考したりする問題に課題が見られました。

今後も「協同的探究学習」に基づいた学びを軸として、自分の考えをしっかりと持つことを大切に取組を進めてまいります。同時に基礎的・基本的な学力を育み、思考力・判断力・表現力等のバランスの取れた学習の充実を図ってまいります。



### ◇質問調査から◇

児童質問紙の回答結果より、いくつもの素晴らしい姿を見とることができました。その一部を紹介します。

- ・「自分には、よいところがある」・・・90.2%
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」・・・81.9%
- ・「人が困っているとき、進んで助ける」・・・94.5%
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけない」・・・100.0%
- ・「人の役に立つ人間になりたい」・・・98.6%
- ・「普段の生活において、幸せな気持ちになることがある」・・・97.2%
- ・「友達関係に満足している」・・・95.8%



※数値は肯定的解答をした児童の割合

さまざまな機会を通して、子どもたちは達成感や成就感を感じ取り、自己有用感を高めていくことにつながっていくができている様子が示されています。また就寝・起床の項目に代表されるように、ご家庭のサポートも大きな要点となっています。引き続き、学校・家庭・地域のみなさまとの連携と協同をお願い申し上げ、子どもたちの確かな成長を育んでいきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。